



平成27年5月11日

各 位

上場会社名 株式会社フェローテック
 代表者 代表取締役社長 山村 章
 (コード番号 6890)
 問合せ先責任者 代表取締役副社長 山村 丈
 (TEL 03-3281-8186)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成27年5月11日開催の取締役会において、下記のとおり平成27年3月期連結会計年度において、特別損失を計上するとともに平成26年11月7日に公表いたしました平成27年3月期の業績予想を修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,000	2,000	1,500	800	25.97
今回修正予想(B)	59,000	1,670	2,030	△2,140	△69.46
増減額(B-A)	3,000	△330	530	△2,940	
増減率(%)	5.4	△16.5	35.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	44,745	798	1,262	1,391	45.18

修正の理由

1. 特別損失の計上について

当社の、太陽電池関連事業におきまして、市場および事業環境の変化に伴い一部の固定資産に収益性の低下が見られることから、余剰設備の処分および収益性の低下した固定資産を回収可能額まで減損し、固定資産減損損失等3,350百万円(年度累計)を特別損失に計上いたします。

今後の計画

平成27年3月期につきましては上記の通り特別損失を計上いたしますが、中国上海工場及び杭州工場から内陸部の寧夏回族自治区に所在する銀川工場へ太陽電池製品の生産統合を進めており、今後につきましては、設備償却費等の固定コスト削減や、電力費・人件費等、銀川工場の優位性による採算性の改善を見込んでおります。また、移管後の上海・杭州の各工場空きスペースにつきましては、好調な電子デバイス事業のサーモジュールの原材料製造ラインの拡張、パワー半導体向けのDCB基板製造ラインの拡張などへの活用を計画中です。また、セラミックス製品の需要や製造装置部品の洗浄依頼が増加しており、製造ラインの増設なども計画しております。

2. 業績予想の修正

売上高につきましては、エレクトロニクス産業および自動車産業の伸長により、当社製品の販売が好調に推移しました。営業利益は、太陽電池のシリコン価格下落の影響から棚卸資産低価法による損失を売上原価として計上したことにより減少しました。経常利益につきましては、為替相場が円安に推移したことによる為替差益の発生により増加しました。当期純損失につきましては、太陽電池関連事業に係わる設備の廃棄および減損など特別損失に計上したことによります。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり8円を据え置きます。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上